令和８年度富士河口湖町姉妹都市中学生派遣交流報告書
「姉妹都市中学生派遣交流を通して」

小俣　結瑚

今回の交流で私は、多くの貴重な体験をすることができました。スイスの自然や伝統的な街並みを直接見たり、ホームステイで様々な経験ができたりしたことなどどれも素晴らしいものばかりでした。

お世話になったホストファミリーの皆さんは、とても優しく接してくれました。その家には、エレンという１４才の中学生がいました。日本のことやお互いに興味のあることなど様々な話をしました。別れる時はさみしかったです。日本からのお土産も喜んでくれました。少しだけですが日本の文化を伝えることができました。食事はどれもおいしかったです。特にチーズは日本のものとは違うおいしさがありました。英語は、たくさんは話せませんでしたが、相手の言っていることを理解したり、自分の考えを伝えたりできてほっとしました。もっと勉強して次にホストファミリーの皆さんと会う時は今回の交流よりもたくさんの話がしたいです。ホームステイした部屋からは、マッターホルンが見えました。朝焼けがとてもきれいでした。私の家からも富士山が見えますが、ここでは山がとても間近で迫力があり素晴らしい景色でした。また、部屋から普通に見えることに感動しました。

スイスの学校には、日本だと当たり前にある制服や部活動がないこと、授業の進め方や全体の学校の雰囲気も違ってとてもいい刺激になりました。ソーラン節の太鼓ができたことやハイキングに一緒に行けたことなど現地の中学生と交流できたこともとても良い経験になったと思います。そして、マッターホルンやユングフラウヨッホ、氷河、美しい街並みの数々など現地にいかなければ見ることができない景色を見ることができ、そこでしか感じることのできない空気感を、直接感じることができたことは大変貴重な経験となりました。今後の生活にも必ず生かされると感じています。このような貴重な機会をいただけたことに感謝したいです。